

ツキノワグマによる人身事故防止のために

今秋のクマのエサとなるドングリ類の実りは、14年ぶりの大凶作であると兵庫県から発表があり、例年以上にクマが人里に出没する可能性があります。丹波市においても、クマの目撃、痕跡情報の件数が昨年同時期に比べ、約2倍に増えており、これからのクマ、冬眠前のクマが餌を求めて活動する時期を迎えるため、特に注意が必要となります。クマによる人身事故防止のため、次の点に注意しましょう。

遭遇しないためのポイント



① 山や果樹の収穫などに行くときは音の出るものを携行しましょう

山や森林付近の農地に出かけるとき、あるいは夜間や早朝に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身につけましょう。特に雨の日や川沿いは、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいので、大きな音を出しましょう。

② 人里でも夕方から朝までの外出は注意しましょう

クマは夕方から早朝にかけて、人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、カキやクリの木の下など、クマがいそうなところに近づかないようにしましょう。



クマを寄せつけないためのポイント



① 誘因物の除去

・ゴミを屋外に置かないようにしましょう

ゴミ(特に生ごみ)はクマを誘引します。屋外に置かないようにすることや夜間のゴミ出しを避け、ゴミ収集日の朝に出すようにしてください。また、田畑への残飯まきや収穫しない野菜、果樹の放置も厳禁です。

・食料は屋内に収納しましょう

クマは臭いにとても敏感です。屋外や侵入できる納屋などにある食料に気づいて、食べにくる恐れがあります。果物、穀物、ペットフードなどは要注意です。納屋や倉庫の扉は確実に閉めるようにしましょう。

・不要な果樹(カキやクリ)の木は伐採しましょう

収穫しない不要なカキやクリの木は、できるだけ伐採しましょう。

伐採が困難な場合は、防護するか、果樹を早めに取り除きましょう。

② 環境整備

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブがある場合は、刈り取って見通しをよくしましょう。

③ 防護

クマが登る不要なカキやクリの木はできるだけ伐採しましょう。伐採できない木には、幹にトタンを巻きつけ、クマが登れないようにしましょう。

果樹園や養蜂巣箱は、電気柵で守りましょう。周辺のヤブを刈り払い、侵入ルートを横切るように電気柵を張ります。



- ・地上 2~3mをカバー
- ・トタンの波目は縦向き
- ・横向きに針金を巻かない

もし出会ってしまったら...

※相手が野生動物である以上、絶対に安全を確保できる方法はありませんが、一般論として言われている内容を示します。参考にしてください。

クマがこちらに
気づいていない

気づかれないように静かにその場を立ち去る

クマがこちらに
気づいている

ゆっくりと後退しその場を立ち去る



大声を出したり、走ったりするのは、かえってクマを興奮させます。落ち着いて状況をよく判断してから、刺激しないように、その場からゆっくり立ち去りましょう。

人里にクマが出没したら...

▶周辺の住民に知らせ、近づかないよう安全確保を徹底しましょう。

▶クマの出没を、市役所へ連絡しましょう。

▶夜間にカキの木に登っている場合などは、無理に追い払いはせずに、翌朝クマが山に帰るのを待って、防護対策を行いましょう。



追い払い

花火、爆竹などで追い払いを行いますが、危険を伴いますので、個人では実施せずに市役所へご相談ください。

捕獲

誘引物の除去や防護、追い払いをしても効果がない場合、人身事故の危険が高い場合、精神的被害が発生している場合は、有害捕獲を行います。有害捕獲の実施については、市役所にご相談ください。



クマの目撃・痕跡情報をお知らせください

集落や山の中にかかわらず、クマの目撃や痕跡を確認した場合は、市役所に連絡をお願いします。対策を検討し、被害を最小限にとどめるために必要となります。

【連絡先】

丹波市春日町黒井 811 番地

丹波市役所 産業経済部 農林振興課

TEL 0795-74-0221

【クマの被害状況と痕跡】



【令和6年度クマの目撃・痕跡件数】

10月10日現在

	柏原	氷上	青垣	春日	市島	山南
目撃	1	4	3	5	3	1
痕跡	0	10	11	6	15	0